

発行/デイサービスセンター 嘉響

ひのくま

令和 6 年冬号



伝統文化を若い世代へ。

農家にとって、米の収穫は自然の恩恵、つまり「神」のご加護によってなされたことであり、藁にはその場所やものを清める意味合いがあるとされています。

清沢地区では昔から正月飾りや藁草履を作る文化はありましたが、徐々にその文化も衰退しています。こちらの方も以前から、藁を使用した正月飾りや、草履を手作りし、売りに出していたそうですが、今では正月飾りは店で買い、藁草履を履く人もいなくなり、やがて作るのもやめてしまい、「モノを作る時代から購入する時代に変化している」と時代の移り変わりを感じているそうです。

伝統的な文化が消えゆく現在、伝統を守っていききたいという気持ちを大事に、若い世代へと継承することが使命だと仰っていました。

「かきようのーコマ」



「自然に二重課題」



午後の活動の中の一つの取り組みとして、教材を使った作品作りをされている方がいます。ご自宅に飾ったり、ご家族にあげたり等と目的を持って、取り組んでいます。作品の工程についての話はもちろんのこと、自宅での話やご自分の体調の話など、「おしゃべりをしながら、手を動かす」ことは認知機能の低下を防げる2重課題に繋がっていきます。



「気持ちが軽くなる瞬間」

午後のゆっくりとした時間、「実はね、最近こんなことあってね」と声を掛けてくださいました。利用者様の中には気心知れた職員とのおしゃべりを楽しみにされている方もいます。ちょっと家族には言いにくいような話や今ご自身が考えている事など、誰かに話したい気持ちが少なからずあるものです。誰かに話を聞いてもらえるだけでも、気持ちが軽くなる・安心感が得られる効果があります。嘉響ではそんな時間を大切にしています。



今月の一句

「人生の 目的作り 嘉響かな」

「自分の好きなことをやらせてくれる嘉響にこれからも続けていきたい」という思いを込めたそうです。

<2月の空き状況>

曜日	(月)	(火)	(水)	(木)	(金)	(土)
空き	○	○	○	○	○	○
入浴	△	○	△	○	○	○

○空きあり △ご相談ください ×空きなし 食費は600円頂いています。



社会福祉法人 駿河会

デイサービスセンター 嘉響

体験・見学お待ちしております



静岡県葵区富沢 1542-39 社会福祉法人 駿河会 晃の園内

電話 054-270-1210 (担当)：小黒・加藤

【定員】18名 【営業日】月曜～土曜(年末年始除く)

ホームページ

<http://www.surugakai.net/kakyo/>